

# 令和2年度事業報告書

## I 国際交流・国際協力事業

### 1 国際交流に関する啓発及び普及事業

#### (1) 機関紙編集発行事業

県内の国際活動団体や在住外国人の活動などに関する情報を広く県民に提供するため、機関紙「みやぎの国際情報誌 倶楽部M I A」Vol. 109～Vol. 114 を発行した。

年6回発行 発行部数 3,200部/回

#### (2) 協会活動広報事業

前年度の事業実績と当年度事業予定等を記載した協会概要を200部発行した。

併せてホームページやフェイスブック等インターネットを活用した情報収集・提供を随時行った。

#### (3) 国際理解教育支援事業

① 次代を担う児童生徒及び社会人等を対象とした国際理解教育を推進するため、教育機関を対象に、外国人講師との交流の機会を提供した。令和2年度は新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、オンライン形式で実施した。

実施一覧【5市10箇所】

実施日時		依頼団体	学年	児童生徒等	保護者等成人	外国人講師
1	2年10月29日(木)	宮城県富谷高等学校	1	280		3
2	2年10月29日(木)	宮城県角田高等学校	1	160		2
3	2年11月9日(月)	宮城県仙台東高等学校	全	40		3
4	2年11月12日(木)	仙台市立仙台高等学校	2	280		1
5	2年11月19日(木)	仙台市立仙台高等学校	1	280		1
6	3年1月19日(火)	宮城県古川黎明中学校	1	105		3
7	3年1月20日(水)	宮城県古川黎明中学校	2	105		2
8	3年1月21日(木)	宮城県仙台東高等学校	2	39	5	2
9	3年1月22日(金)	宮城県古川黎明中学校	3	104		3
10	3年3月9日(火)	塩竈市立月見ヶ丘小学校	4	71	2	3
合計				1,464	7	23

協力外国人講師 延べ23名

アメリカ、アルメニア、イギリス、インド、インドネシア、エジプト、韓国、ギニア、スリランカ、中国、ネパール、ブラジル、ラオス  
以上13か国

② 事業実施にあたり、協力外国人講師を対象にオンライン会議ツールの使用方法等についての説明会及び情報共有のための研修会をオンラインで開催した。

・実施日 第1回説明会 令和2年9月28日(月)  
第2回説明会 令和2年10月2日(金)

研修会 令和3年3月2日(火)

・参加者数 第1回説明会 14名、第2回説明会 14名、研修会 12名

## 2 連絡調整事業

### (1) 各種連絡会議の開催等

① 令和2年度宮城県多文化共生社会の推進に関する市町村等研修会

※宮城県主催会議に協力

・実施日 令和2年11月24日(火)

・会場 宮城県自治会館 9階研修室

・参加者数 34名

② 例年実施していた「宮城県市町村国際交流協会連絡会議」は、新型コロナウイルス感染拡大を踏まえ中止とし、代替事業として、「市町村日本語教室連絡会議」と兼ねる形で新型コロナウイルス感染症に関するオンライン研修会を開催した。

・実施日 令和3年2月22日(月)

・参加者数 11名

### (2) 「みやぎの国際活動団体 DIRECTORY2021」の編集・Web公開

県内の国際活動団体の現状把握と団体相互の情報交換を目的として、208団体の概要を取りまとめ、公益財団法人仙台観光国際協会との協働により編集し、Web公開した。

### (3) 国際交流に関する会議等出席

全国の地域国際化協会との情報共有や職員の資質向上を目的として各種会議・研修会に参加した。

① 東北・北海道国際化協会連絡協議会総会（オンライン）

令和2年8月21日(金) ※幹事協会として会議の運営を担当した。

② 東北・北海道国際化協会連絡協議会研修会（オンライン）

令和2年10月6日(火) ※自治体国際化協会主催研修会と併せて実施。

③ その他、自治体国際化協会等関係機関が主催する研修会、会議に参加した。

## 3 交流活動事業

### (1) 国際交流民間団体支援事業

県民参加の国際交流・協力・多文化共生推進活動を推進するため、県内国際交流民間団体の活動を支援するとともに、公益財団法人未来の東北博覧会記念国際交流基金の運営業務の支援を行った。

① 国際交流団体等の行催事に対する名義後援、共催・協力事業

名義後援 4件

共催事業 多文化共生対談 in 石巻

主 催 宮城県

実施日 令和3年2月7日(日)

② 国際交流施設の整備・運営

図書資料室、交流ラウンジ、研修室の国際交流施設を運営し、県民及び国際交流団体等の

利用に供した。

利用状況(延べ利用人数)

- ・図書資料室 30名
- ・交流ラウンジ 969名
- ・研修室 944名

③ 万国旗の整備・貸出

各種団体が実施する国際交流事業に貸し出すための万国旗を整備した。

- ・国旗大(135cm×90cm) 181か国
- ・卓上旗 188か国
- 国旗貸出件数/枚数 5件/25枚

(2) 市町村国際交流支援事業(みやぎのふるさとふれあい事業)

市町村の伝統文化行事、年中行事等に本県在住の外国人に参加してもらい、文化体験とともにホームステイ等による地域住民との交流を行うことにより、地域の国際交流の活性化に役立ててもらうものとして例年実施しているものであるが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、市町村国際交流協会からの実施希望がなかった。

4 国際協力事業

(1) 国際協力普及啓発事業

国際協力に関する普及啓発を図るため、例年、独立行政法人国際協力機構東北センターと共催でセミナーを実施しているものであるが、新型コロナウイルス感染拡大を踏まえ、実施が見送られた。

(2) 宮城県海外研修員日本語研修事業(宮城県委託事業)

宮城県が国際友好県省中国吉林省から招聘した研修員を対象に、日本語研修を例年実施していたが、令和2年度は新型コロナウイルスの感染拡大により研修員が来日せず、実施しなかった。

II 多文化共生推進事業

1 日本語学習環境整備事業

(1) 日本語講座運営事業

本県在住の外国人や帰国者等で日本語を学習したい方々を対象に日中の講座及び夜間講座を開設した。

① 日本語講座

・第1期

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、第1期は開催を休止した。その代わりに学習者がオンラインを通じて日本語講座講師と会話をする「オンラインで話そう」を開催した。

「オンラインで話そう」(全7日)

令和2年5月26日(火)～6月16日(火)(受講者数7名/7か国)

・第2期

第2期は通常通り開催した。しかし、学習機会が大幅に減少したことや今後に向けてオンラ

インでの学習支援の試行が必要となったことから、1月と2月に「オンラインで話そう」を開催した。

初級1・2(週4回)

令和2年9月1日(火)～12月9日(水)(受講者数16名/7か国)

中級(週2回)

令和2年9月1日(火)～12月10日(木)(受講者数5名/5か国)

夜間初級1・2(週1回)

令和2年9月1日(火)～令和3年1月26日(火)(受講者数14名/10か国)

・会場 当協会研修室・交流ラウンジ

・講師 当協会委嘱講師

「オンラインで話そう」(全4日)

令和3年1月12日(火)～2月18日(木)(受講者数8名/6か国)

## ② 漢字学習用教科書の頒布等

MIA日本語講座漢字クラスの講師陣が中心となって編集し、平成25年度に発行した、地域日本語教室向け漢字学習用教科書『使って覚える楽しい漢字1・2』を、県内日本語教室等に有償頒布した。

## (2) 地域日本語教育支援事業

本県における日本語学習支援環境の向上を図るため、支援者のスキルアップを目的とした各研修会を実施した。

### ① MIA日本語サポータービギナー研修会

・実施日 令和2年11月18日(水)

・会場 当協会交流ラウンジ

・参加者数 8名

・講師 MIA日本語講座スーパーバイザー

### ② MIA日本語ボランティアセミナー(オンライン)

・実施日 令和3年3月16日(火)

・参加者数 44名

・講師 MIA地域日本語教育アドバイザー

## (3) 日本語学習に係る調査研究事業(宮城県委託事業)

本県の日本語学習環境の整備につなげるため、県内の日本語学習に関するニーズや課題を把握するための調査と、ICT(情報通信技術)を活用した日本語学習支援を試験的に行った。

### ① 現状調査

(イ) 在住外国人を対象としたアンケート調査

回答数 630

調査項目 日本語学習経験、日本語能力、日本語学習に対するニーズ等

(ロ) 日本語学習支援団体を対象としたアンケート調査

回答数 26

調査項目 学習者・支援者の状況、活動形態、課題等

(ハ) 市町村を対象としたアンケート調査

回答数 35

- 調査項目 日本語教室開設のニーズの有無、日本語教室の役割、課題等
- (二) 外国人雇用企業等を対象としたヒアリング調査  
 対象数 11  
 調査項目 外国人社員等の日本語能力、日本語学習支援環境、課題等
- ② ICTを活用したオンライン日本語学習支援の試行
- (イ) 技能実習生を対象とした学習支援  
 実施日 令和2年9月5日(土)～12月20日(土) 計8回  
 内容 オンラインと対面の併用による学習支援  
 対象 ベトナム人技能実習生8名
- (ロ) ウェブ教材を活用したマンツーマンでの学習支援  
 実施日 令和2年10月8日(木)～12月10日(木) 計10回  
 内容 オンラインによる、ウェブ教材を主教材として使用した学習支援  
 対象 アメリカ人学習者1名
- (ハ) 技能実習生と大学生によるオンライン日本語会話  
 実施日 令和2年12月11日(金)、12月18日(金)  
 内容 大学生による日本語学習支援サークルのオンライン活動に参加  
 対象 ミャンマー人技能実習生8名

#### (4) MIA日本語サポーター登録・紹介事業

個人指導を望む外国人学習者からの要望に応えるためのサポーター登録を行い、適宜マッチングを行った。令和2年度は新型コロナウイルスの感染拡大を受け、従来の対面型のサポートをすべて休止とし、オンラインによるサポートのみとした。

・登録者 125名/紹介 18件

#### (5) 日本語教材整備事業

日本語教材と多言語辞書に特化した図書整備を行い、日本語学習支援に携わる県民ボランティア等の利用に供した。

整備数 [令和3年3月31日現在]

図書類 日本語教材/1,736冊、多言語辞書・辞典・その他/254冊

## 2 多言語情報・人材整備事業

### (1) 外国人支援通訳サポーター整備事業

増加する在住外国人が、安心して医療や公的サービスが受けられるよう、医療機関や公的機関からの要請に応じる「保健・医療通訳サポーター」及び「生活相談通訳サポーター」の紹介を行った。また、登録者を対象として「災害時通訳ボランティア研修会」との合同研修会を行った。

#### ① スキルアップ研修会

- ・実施日 令和3年1月27日(水)
- ・会場 オンライン開催
- ・内容 「在留外国人の状況と外国人支援通訳サポーターについて」  
「遠隔通訳の実情と課題」

- ・受講者数 31名
- ② 月例言語別自主学習会の実施  
英語・中国語・韓国語  
※英語グループは一部オンラインによる実施
- ③ 登録者内訳  
保健・医療分野／19言語 156名  
生活相談分野／18言語 152名  
英語、中国語、韓国語、インドネシア語、ウクライナ語、ウルドゥ語、広東語、スペイン語、台湾語、タガログ語、タミル語、ドイツ語（※保健・医療のみ）、ネパール語、フランス語、ベトナム語、ベンガル語、ポルトガル語、モンゴル語、ロシア語
- ④ 紹介実績  
・保健・医療分野 31件  
電話・オンラインによる遠隔通訳、仙台市保健所青葉支所、宮城県医療人材対策室、石巻赤十字病院  
ベトナム語 5件、中国語 4件、ネパール語 4件、ヒンディ語 4件、インドネシア語 3件、ミャンマー語 3件、英語 2件、ベンガル語 2件、タガログ語 2件、スペイン語 1件、ウルドゥ語 1件を紹介  
・生活相談分野 17件  
電話・オンラインによる遠隔通訳、第二管区海上保安本部、仙台地方検察庁、法律事務所  
中国語 6件、インドネシア語 3件、ウルドゥ語 2件、ベトナム語 2件、ポルトガル語 1件、ネパール語 1件、ベンガル語 1件、タイ語 1件を紹介

## (2) 災害時における通訳ボランティア整備事業（宮城県委託事業）

県内で大規模災害が発生し、県内在住の日本語が不自由な外国籍県民が被災した際に必要な支援を行う通訳ボランティアを整備・登録するための研修会を「外国人支援通訳サポータースキルアップ研修会」と合同で実施した。

登録者内訳 18言語/138名

英語、中国語、韓国語、インドネシア語、ウクライナ語、広東語、スペイン語、台湾語、タガログ語、タミル語、ネパール語、ヒンディ語、フランス語、ベトナム語、ベンガル語、ポルトガル語、モンゴル語、ロシア語

## 3 多言語相談対応事業

### (1) 相談コーナー事業

本県在住の外国人等の生活相談及び県民の国際交流・協力に関する相談業務を行うため、相談員1名を配置し、みやぎ外国人相談センターと機能補完しつつ各種相談に応じた。

・相談件数 793件

### (2) 「みやぎ外国人相談センター」設置事業（宮城県委託事業）

外国人の日常における多様な困りごとに対し、多言語（日本語、英語、中国語、韓国語、ポルトガル語、タガログ語、ベトナム語、ネパール語、インドネシア語等）で適切に応えることがで

きるよう相談センターを設置し、仙台弁護士会や宮城県行政書士会等とも連携しながら、面談又は専用電話(三者通話可能)により対応した。

- ・相談件数 387件(中国語73件、英語59件、ネパール語30件、タガログ語22件、ベトナム語16件、韓国語10件、ポルトガル語7件、日本語160件、その他10件)
- ・相談内容 医療88件、雇用・労働52件、身分関係37件、入管手続34件、教育24件、通訳・翻訳24件、交通・免許13件、日本語学習11件、住宅11件、その他

### (3) 新型コロナウイルス感染症関連の情報提供等に係る外国人受入環境整備事業

#### (宮城県補助事業)

在留外国人への新型コロナウイルス感染症に関する多言語による情報提供を拡充するため、当協会のホームページをリニューアルし、日本語、英語、中国語及び韓国語の4言語で情報提供していたものに、近年在留外国人の増加が著しいベトナム語とネパール語の2言語を追加し、ホームページの構成も刷新した。

また、ホームページリニューアルに係る翻訳を行うと共に、国や県から発表される新型コロナウイルス感染症に関する各種情報について、多言語に翻訳し、ホームページ等で情報提供を行った。

## 4 教育支援事業

### (1) 外国籍児童生徒支援事業

「外国籍の子どもサポーター」の派遣や情報提供等を行う「外国籍の子どもサポートセンター」を当協会内に設置し、情報や支援の手から孤立しがちな地域点在型の外国籍児童生徒についても、公平に支援できる体制を整えた。

① 登録者数 154名(18言語)

② 紹介実績

新型コロナウイルスの感染拡大により、学校等への紹介を休止した。

③ スキルアップ研修会 ※「外国人の子ども・サポートの会」との共催

・実施日 令和3年3月13日(土)

・会場 オンライン開催

・参加者数 37名

④ 日本語を母語としない子どもと親のための進路相談宮城

※「日本語を母語としない子どもと親のための進路ガイダンス実行委員会」との共催。

※新型コロナウイルスの感染拡大により、例年仙台等にて開催していた進路ガイダンスの開催を見送り、同実行委員会で作成した進路ガイドブックの配布、高校進学に関する説明動画(日本語版と中国語版)の作成と配信、個別の相談対応などを行った。

### (2) 私費留学生緊急支援貸付事業

県内在住の私費留学生に対し、緊急に必要な生活資金の貸付を行った。

貸付件数4件 貸付総額700千円

## 5 定住外国人社会参画支援事業

### (1) ニューカマー生活適応支援事業

MIA日本語講座の受講生を対象に、外国人の生活適応支援を目的とした次の講座を実施した。

- ・防災について学ぶ会 令和2年11月4日(水) 参加者数/初級1・2クラス 14名

### (2) 技能実習生等との共生の地域づくり推進事業(宮城県委託事業)

地域住民としての技能実習生との共生の意識の涵養を目指し、各種研修や交流の機会を設けた。

#### ① 多賀城

##### (イ) 交流サポーター育成講座

- ・実施日 令和2年9月26日(土)、10月3日(土)
- ・会場 多賀城市大代地区公民館
- ・参加者数 13名

##### (ロ) 防災研修

- ・実施日 令和2年11月8日(日)
- ・会場 多賀城市大代地区公民館
- ・参加者数 技能実習生20名、交流サポーター・町内会関係者等日本人70名

##### (ハ) 陶芸体験を通じた交流

- ・実施日 令和2年12月13日(日)
- ・会場 多賀城市大代地区公民館
- ・参加者数 技能実習生20名、交流サポーター等日本人16名

#### ② 気仙沼

##### (イ) 防災研修

- ・実施日 令和2年10月25日(日)
- ・会場 気仙沼・本吉広域防災センター
- ・参加者数 技能実習生16名、受入企業関係者等日本人9名

##### (ロ) 「やさしい日本語」研修(市民向け)

- ・実施日 令和2年11月28日(土)
- ・会場 気仙沼市役所ワン・テン庁舎
- ・参加者数 28名

##### (ハ) 「やさしい日本語」研修(市職員向け)

- ・実施日 令和3年3月9日(火)
- ・会場 気仙沼市役所ワン・テン庁舎
- ・参加者数 20名

## III 海外移住事業

### 1 海外県人会助成事業(宮城県補助事業)

海外宮城県人会の運営に資するため助成を行った。

ブラジル(サンパウロ、アマゾン)、パラグアイ、ペルー、メキシコ、アルゼンチン、アメリカ(南カリフォルニア、ハワイ)

### 2 海外移住者支援事業

海外移住物故者慰霊祭を実施した。

- ・実施日 令和2年9月17日(木) 場所 大崎市鳴子「鳴子霊苑」
- ・参加者数 19名

#### IV 評議員会及び理事会の開催状況

	開催月日	会場
評議員会	令和2年6月12日(金)	宮城県仙台合同庁舎
理事会	令和2年6月12日(金)	宮城県仙台合同庁舎
	令和2年11月20日(金)	宮城県仙台合同庁舎
	令和3年3月25日(木)	宮城県仙台合同庁舎

令和2年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成していない。

令和3年5月  
公益財団法人宮城県国際化協会